



熊谷市 記者クラブ取材情報

平成30年11月27日発表
担当課:熊谷図書館

事業の名称等

～作家・森村誠一が選ぶ～第7回くまがや「写真俳句」コンテスト
特選・入選作品の展示及び表彰式

1. 展示期間 平成30年12月8日(土)～12月16日(日)
9時～17時(最終日は14時まで、月曜日は休館日)
表彰式 平成30年12月16日(日)14時～
2. 展示場所 熊谷市立文化センター1階市民ギャラリー(熊谷市桜木町2-33-2)
表彰式会場 熊谷市立文化センター4階第一講座室
3. 事業概要
(内容)「～作家・森村誠一が選ぶ～第7回くまがや「写真俳句」コンテスト」として作品を募集したところ、北は北海道から南は鹿児島県まで、下は6歳から上は87歳まで、657名(ジュニアの部521名 一般の部136名)の方から総数1005句が投句されました。この中から森村誠一氏の選考を経て一般の部:特選4点・入選11点、ジュニアの部:特選1点・入選9点が選ばれました。また、この中から熊谷にちなんだ作品4点が熊谷賞に選ばれました。これらの入賞作品について展示と表彰式を行います。
入賞作品は、12月1日(土)から市ホームページ「WEBくまがや写真俳句館」に公開します。
(経過)平成24年度から事業を実施し、今年で7回目の開催です。
4. 特徴やPRポイント
(1)くまがや「写真俳句」コンテストを通じて、「文学のまち」としての熊谷市を全国に発信しています。「写真俳句」に造詣が深い熊谷市出身の作家・森村誠一氏が選者を務めるほか、賛助作品の提供や特選作品への添え句をしていただくなど、同氏から全面的に御協力をいただいています。
(2)今年から一般の部とジュニアの部に部門分けをしました。一般の部では質の高い作品が多くみられました。1人10点を上限としていますが、10点応募する方も多く力作揃いでした。ジュニアの部では学校の夏休みの宿題でとりあげていただいた学校も多く、花火やかき氷、暑さ日本一をテーマにした作品が多数寄せられました。
(3)昨年は文化センター耐震工事の関係で、展示会場を緑化センターとしましたが、今年は例年どおり市民ギャラリー(市立文化センター内)で行います。文化会館の催し物に来館した方にも立ち寄っていただけることが期待されます。
5. 主催:熊谷市・熊谷市教育委員会

資料の有無(有) ・ 無)

担当者 高舘夕子 西村陽子 油橋將行

連絡先 048-525-4551(休館日:048-525-9463)

～作家・森村誠一が選ぶ～くまがや「写真俳句」コンテスト 推移

	年度		応募数	年齢		地域		入賞作品数				作品展示		
	西暦	和暦		最年少	最高齢	北	南	特選	熊谷賞	入選	熊谷賞	展示会場	期間	入場者
第1回	2012	平成24	1,433	6	87	秋田県	長崎県	5		24	5	ギャラリー スペースK	26日	204
第2回	2013	平成25	1,351	6	84	青森県	鹿児島県	6		20	3	ギャラリー スペースK	24日	129
第3回	2014	平成26	1,279	4	94	北海道	長崎県	5	2	24	4	市民ギャラリー	12日	388
第4回	2015	平成27	1,269	6	94	青森県	長崎県	5	2	20	5	市民ギャラリー	12日	345
第5回	2016	平成28	1,275	6	97	北海道	熊本県	5	1	20	5	市民ギャラリー	12日	498
第6回	2017	平成29	1,166	6	98	北海道	鹿児島県	5	1	20	6	緑化センター	7日	171
第7回	2018	平成30	1,005	6	87	北海道	鹿児島県	ジュニアの部	ジュニアの部	ジュニアの部	ジュニアの部	市民ギャラリー	8日	
								1	0	9	1			
								一般の部	一般の部	一般の部	一般の部			
								4	1	11	2			

応募累計 8,778

平均 1,254

ギャラリースペースK 鎌倉町

緑化センター 市役所となり中央公園内

市民ギャラリー 市立文化センター 1F

～作家・森村誠一が選ぶ～

第7回くまがや「写真俳句」コンテスト

一特選・入選作品一

「写真俳句」とは、熊谷市出身の作家・森村誠一氏が提唱する、写真と俳句を組み合わせた新しい表現手法です。熊谷市では平成24年度から～作家・森村誠一が選ぶ～くまがや「写真俳句」コンテストを開催し、今年で7回目となりました。今年から、小中学生対象の「ジュニアの部」、高校生以上対象の「一般の部」の二部門に分けて「写真俳句」コンテストとして実施したところ、北は北海道から南は鹿児島県まで、下は6才から上は87才まで、全国から1005句の投句をいただきました。この中から、森村誠一氏の選考を経て特選5点（うち熊谷賞1点）、入選20点（うち熊谷賞3点）が決定しました。作品は、次のとおり展示します。また「WEBくまがや写真俳句館」に掲載します。

○期間／12月8日（土）～12月16日（日）9：00～17：00（最終日は14：00まで）

○会場／熊谷市立文化センター1階市民ギャラリー ※月曜日は休館日。



天国は こんなところと 下見する 野村昌弘

【添句】花筵^{むしろ} 空に染まりて 雲白し

特選



お元気と 笑顔の2人 手をにぎる 大谷恵子

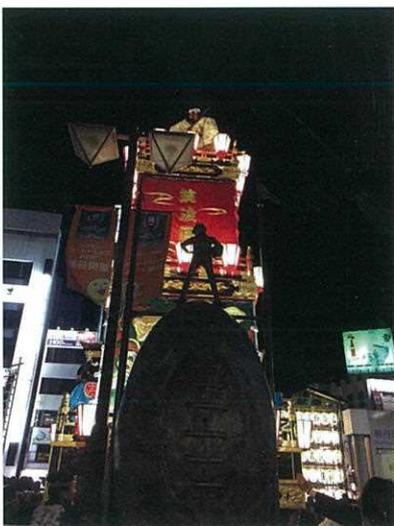
【添句】90年 あたたかき手や 今若し



窓際に 上ぐる^あ 喚声^{かんせい} 春の虹 山田真二

【添句】人生を 渡す^{かなた} 彼方に 夢追う橋

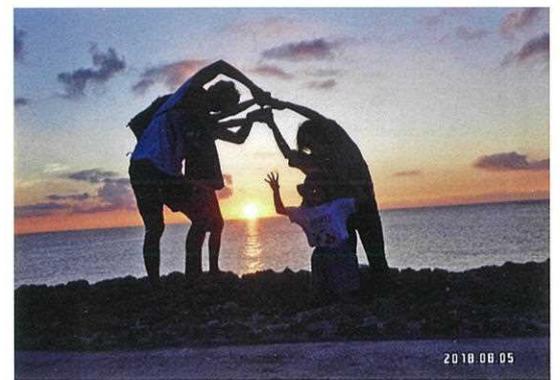
〈熊谷賞〉



胸を張り わが街一番 あつい街 根岸智子

【添句】日本一 歴史の奥の 熱を追い

【ジュニアの部】



夕やけと 家ぞくつつんだ 海の風 増田瑛太

【添句】^{ざんしょう} 残照に 家族を染める 一日の花

入 選 【一般の部】



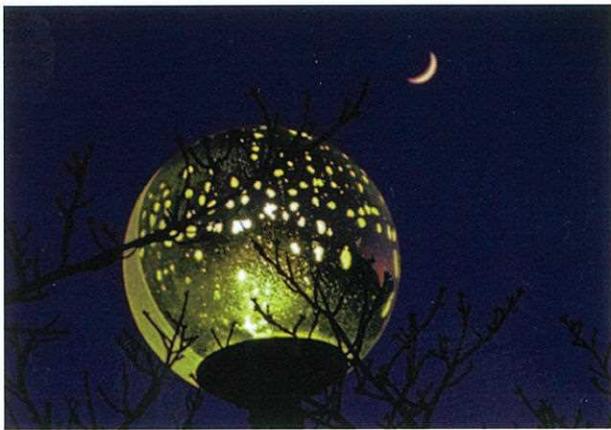
こころただ
心正し 少年野球 一球に 小林真佐雄



なぎさかせ
父と子の 語らい包む 渚風 松本麗美



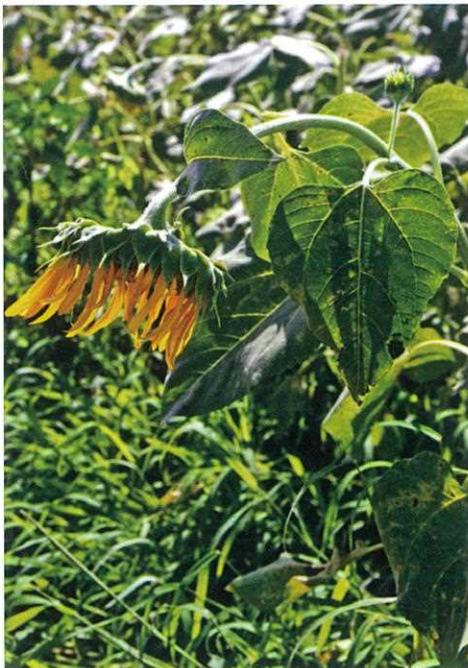
あられ
井戸水よ 霰となりて 踊りだせ 藤 恵子



さむぞら がいとう
寒空に 外灯ひとつ 輝きて 半田ヒデ



寄り添いて 言葉少なに 時は過ぐ 上條真知子



〈熊谷賞〉
ひまわり こうべ
41.1度 あの向日葵が 頭たれ 稲村 光



とわ
青空や 永遠に続けと 願う夏 廉林佑希乃

入 選

【一般の部】

〈熊谷賞〉

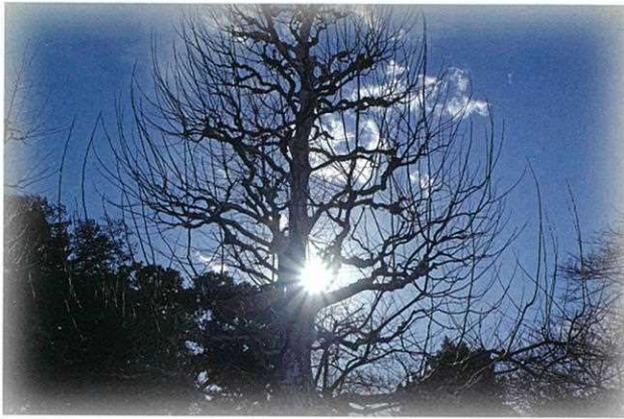
語り部や 8月14日の石灯籠
いしどうろう
野原清



はる 遙かなる おんぶの記憶 秋彼岸 秋田芳子



昼下がり きびの皮むく 小さな手 丸山 岳



せんじゅかんのん
立ち姿 千手観音 枯れ木かな 河野三男

入 選

【ジュニアの部】

猛暑にてわが家の神も避暑探し
ひしよさが
秋保泰葉



しぶき 水飛沫 友とかけあう 虹の橋 福島瑠香

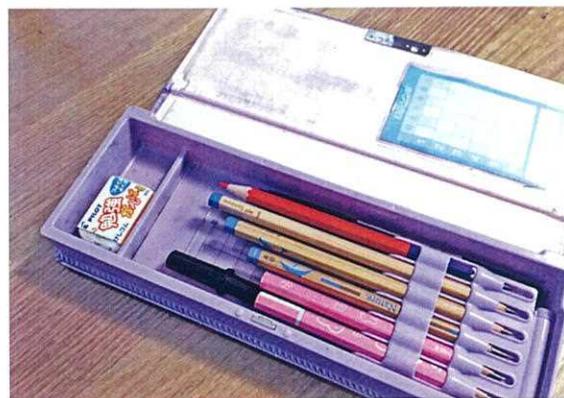


ぼくんち発 銀河鉄道 火星行き 中島喜之介

入 選 【ジュニアの部】

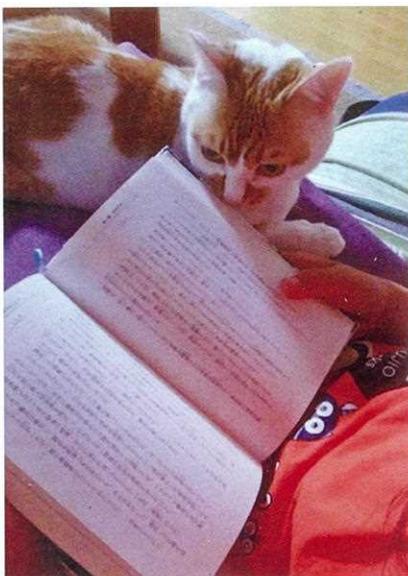


まんげきょう
サクラソウ 水がめの中 万華鏡 菊地心暖



夏休み えんぴつたちはながいまま 北上里桜

おねーちゃん私に読んで聞かせてよ 飯塚月乃



あつくてもやっぱりうれしいにほんいち 谷田はな
〈熊谷賞〉



竹ぼうき ぼくらの気持ち 夏空へ 高木颯佑



こう くも ちよう
青い空 ひ行き雲の らくがき帳 穂葉百花

～お知らせ～

このたびのコンテストにつきまして、下記の通り表彰式を行います。

記

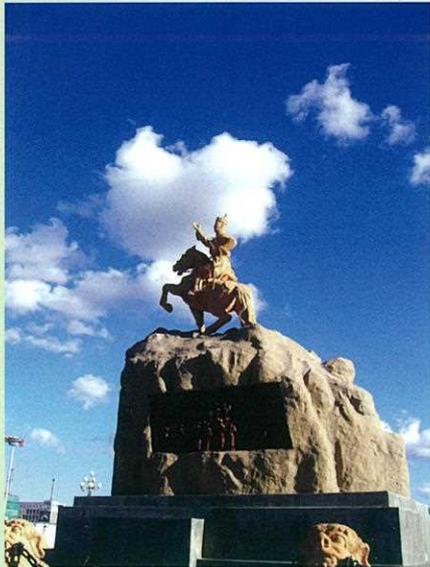
- 日時 平成30年12月16日（日）14：00～
- 会場 熊谷市立文化センター4階第一講座室
熊谷市桜木町二丁目33番地2

～作家・森村誠一が選ぶ～

第7回 くまがや「写真俳句」コンテスト

森村誠一氏 賛助出品作品

— 写真で記録、俳句で記憶、写真俳句は日常から始まる —



来る年を 走り抜けよと 馬冷し



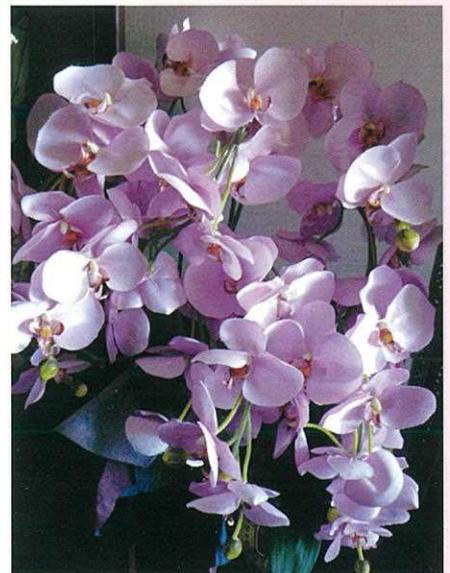
戦争と 平和の界 ^{さかい}月天心



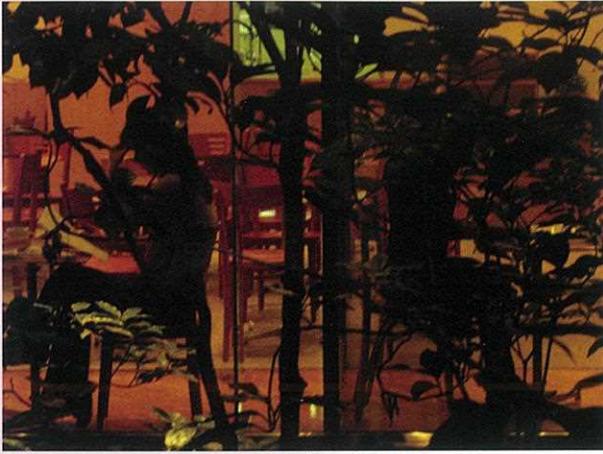
ひと ひと
嫁ぐ女 嫁待つ男も 梅の中



つゆ
梅雨走る 傘の余裕や 恋を生み



ひ
幻と 知れど待ため陽 造り花



びと
迷い人 落葉なだれに 包まれて



過ちをいくつ重ねて 雲の峯



薫風に 運ぶ便りや いずこより



行く雲の 秋果てしなき 余生かな



幻の 機影を見たり 天高く



ぼしご
散りてなお 夢かうつつか 花梯子